

会員会社紹介

ソニー株式会社

スタンダード&パートナーシップ部
メディアテクノロジー課 堀江 毅



ソニー株式会社は1946年、従業員数約20名の小さな「東京通信工業」としてスタートしました。創業者のひとり井深大は、会社設立の目的を「技術者がその技能を最大限に発揮することのできる『自由闊達にして愉快なる理想工場』を建設し、技術を通じて日本の文化に貢献すること」とし、「人のやらないことをやる」というチャレンジ精神の下、数々の世界初の商品を打ちだしてまいりました。

弊社が現在展開する事業としては、まず、コンシューマー製品・サービス領域があげられ、時代に先駆けた技術やデザインの製品を発表しつづけてきた「テレビ&ビデオ」、ウォークマン®やヘッドホンからホームオーディオにいたるまで幅広い製品を展開する「オーディオ」、デジタル一眼カメラα™など弊社ならではの映像体験を提案する「デジタルカメラ」、Xperia™スマートフォンを中心に、これまでにない音楽、映像などの体験をユーザーに提案し、B2B事業にも取り組んでいる「スマートフォン・インターネット」、プレイステーション®プラットフォームビジネスを展開する「ゲーム&ネットワークサービス」、そして「映画」、「音楽」、「金融」が含まれます。

次に、新規事業領域として、aibo™に代表される「エンタテインメントロボット」、空間に馴染むプロジェクターなどの空間のあり方を変えるLife Space UX™、既存事業領域外のアイデアを集め育成するSeed Acceleration Program(SAP)、教育プラットフォームサービスを展開しKOOV™など新しい学びの体験を提供する「エデュケーション」、スポーツ分野における新たな気づきや体験を提供する「スポーツエンタテインメント」があげられます。

さらに、プロフェッショナル機器&サービス事業領

域があり、高い技術力で顧客ニーズに答え新たな価値を提供する「プロフェッショナル機器&ソリューション」、業界をリードしているイメージセンサー分野を中心とする「半導体」、カメラなどの医療用映像機器や細胞分析装置を提供する「メディカル」、交通乗車券や電子マネー決済で活用されている非接触ICカード技術方式FeliCa™が含まれます。

「SONY」という4文字の下、非常に多様性のある事業領域が共通の価値観で1つになれることが弊社の強みになっています。

TTCの標準化活動では、マルチメディア応用専門委員会、ILE SWG、国際連携AG ITU-T TSAG対応タスクフォース、IPR委員会、標準化会議に参加しており、「テクノロジー・コンテンツ・サービスへの飽くなき情熱で、ソニーだからできる新たな『感動』の開拓者になる」という弊社のビジョン実現と、引き続き社会へ寄与していくことを考えております。



ソニー本社（東京都港区港南）